

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～小学校体育科～

第6学年単元名 陸上運動 短距離走・リレー(第6/8時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

バトンパスのポイントに着目し、自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝える。(思考力、判断力、表現力等)

こんな授業になっていませんか？

【教師の発問】

チームでよい点や改善点をお互いにアドバイスし合いながら、バトンパスの練習をしましょう。



お互いに見合い・教え合い・励まし合うようにすれば、対話的な活動が活発になり、協力して取り組めるはず。

【児童の反応】

リレーをしながらアドバイスするのは難しそう。よい点や改善点ってどんなことに気を付けて見ればいいのか？



走るのが苦手な人は、あまり練習しようとしなないんだよな…。



リレーは苦手だな。チームに迷惑をかけないか不安だな…。

バトンパスをする人の「何に」着目すればよいのかポイントを焦点化していないので、アドバイスが具体化されず、活動が活性化されません。また、「走る」「見る」の役割分担を明確にしないと、運動量や学びの個人差が大きくなってしまいます。

「見方・考え方」を働かせる意識をプラス！

「体育の見方・考え方」とは

※保健領域にも、「保健の見方・考え方」があります。

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。

児童が「見方・考え方」を働かせるためには

「運動の特性」に応じた楽しさや喜びを味わわせるとともに、「見合い・教え合い・励まし合い」を活発にする場面設定が大切です。

体育科は、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する力を育むことが求められる教科です。児童が「友達と協力して記録を伸ばしたり点数を取ったりするのは楽しいな」「新しい技ができてうれしいな」などと、運動の特性に応じた楽しさや喜びを実感できることが大切です。また、運動を「する」ことだけでなく、「みる」ことで楽しむ、用具の準備や後片付けなどで運動を「支える」こと、運動がもたらす効果を「知る」ことなど、自分の適性に応じた多様な関わり方について考えることも必要です。

そのためには、教師が各種の運動の特性に着目し、それぞれに応じた楽しさや喜びを味わうことができる授業づくりを意識する必要があります。そして、児童が運動やスポーツへの多様な関わり方を見いだせるよう、「見合い・教え合い・励まし合い」ができる場面設定をすることも大切です。運動との多様な関わりを通して、運動の楽しさや喜びを味わわせ、「運動が好き、大切だ」と実感できる学習活動を行っていきましょう。

授業を こう変える！

- ・バトンパスのポイントを「バトンをもらう人が走り出すタイミング」に焦点化することで、児童がリレーの特性に着目した具体的なアドバイスを考えられるようにする。…**[1]**
- ・役割分担を明確にし、「見合い・教え合い・励まし合い」の場面を確実に設定することで、リレーに多様な関わり方ができることに気付けるようにする。…**[2]**
- ・仲間の考えや取組を認め合う「アドバイスタイム」を設け、様々な関わり方で友達と仲よく運動ができた楽しさを児童の発言から引き出すことで、「体育って楽しいな」と実感できるようにする。…**[3]**

このような授業にしていきましょう！

【「リレーの特性」に着目させる発問】…1

リレーの特性：減速の少ないバトンの受け渡しをすることで、記録を短縮したり、相手と競走（争）したりする。



リレーで目標記録の達成に向けて、記録を縮めるためには、どうしたらよいでしょう？

いつもバトンパスでスピードが落ちてしまうよね。バトンパスの上手な方法を考えるといいんじゃないかな。



バトンをもらう人のスピードが、渡す人とぴったり合えば、記録は縮まるのではないかと思います。

〈児童の姿〉
教師が、リレーの特性についての視点を与えることで、児童はバトンパスのポイントに着目して考えるようになります。バトンパスを改善することで、記録を縮めることができると考え、具体的な意見を出し合うことができます。



その通りですね。バトンパスのポイントはいくつかありますが、今日はバトンパスのスピードが落ちないように、バトンをもらう人が走り出すタイミングを意識しましょう。

【「見合い・教え合い・励まし合い」の場面の設定】…2



今日はチームでバトンパスの練習をします。学習カードにあるように、ランナーとコーチの役割を全員が経験します。1回目の練習が終わったら、アドバイスタイムを3分間とりますね。コーチ役の人たちは「バトンをもらう人が走り出すタイミング」をよく見て、アドバイスしましょう。

「リレー」チーム練習学習カード

6年 組 番 氏名

メンバー	
A	B
C	D

○チーム練習の役割分担

	ランナー		コーチ	
	1走	2走	タブレット撮影	アドバイス
1回目	A	B	C	D
2回目	D	A	B	C
3回目	C	D	A	B
4回目	B	C	D	A

1回目のほとりの役割は、タブレット撮影だな。リレーで走るの苦手だけど、バトンパスの様子がよく分かるように撮影すれば、チームのみんなの役に立てそうだ。がんばろう！



タブレット撮影



そうか。コーチ役の時も「バトンをもらう人が走り出すタイミング」を意識してアドバイスすればいいのね。タブレットの映像を何度も確認すれば、私にもできるような気がするわ。

アドバイス

役割分担があるから、走るのが得意かどうか関係なく、みんなでアドバイス合せて練習できるぞ。これなら記録が縮まりそうだな。



1走

〈児童の姿〉
教師は、全員がランナーとコーチの役割を経験できるように分担を決め、「見合い・教え合い・励まし合い」の場面を設定します。児童は、「する」だけではない役割があることを知り、「みる・支える・知る」の関わり方からも「バトン」をもらう人が走り出すタイミングを考えようとしています。

ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

本時の「アドバイスタイム」の場面で

【運動の楽しさを実感させる活動の設定】…3

タブレット撮影



スピードが速くて撮るのが難しかったけど、走り出すタイミングが分かるように、二人の動きに注目して撮ってみたよ。

2走



タブレットの撮影が上手だから、映像を見て確認しやすいわ。これなら、バトンパスの様子がよく分かるわね。ありがとう。

アドバイス



映像を見ると、走り出すタイミングが少し早かったね。今度は1走が「Go」と言うタイミングを遅らせたらどうかな？

1走



スピードが落ちていたのは、走り出すタイミングが原因かもね。「Go」の掛け声は、どのあたりで掛ければよいのか、もう一度、映像を見て考えようよ。



2走が走り出すタイミングがどうして早くなってしまったのか、みんなで協力しながら考えることができましたね。次は記録が縮まりそうですね。

〈児童の姿〉
バトンパスのポイントを焦点化したことで、それぞれの立場から考え、具体的にアドバイスを出し合っています。また、教師が児童のよい点を認め、仲よく運動ができたことを実感させることで、運動の楽しさを味わうことができます。これらが、「運動が好き」「次もやりたい」という思いにつながります。